

標準施工要領書

空調用保温付きダクト

「フジエアダクトA」

作成	2010年5月17日
改訂	2023年5月25日



フジモリ産業株式会社

空調用保温付きダクト

フジエアダクトA

1-1

運搬・保管

- ・ 表面被覆材が損傷を起さないように、フジエアダクトAの運搬時及び保管時には注意が必要です。特に積み重ねを行う場合には、下積みになったフジエアダクトAが変形を起さないようにして下さい。
- ・ 雨水等が当たらないように、シート等で十分養生を行って下さい。
- ・ フジエアダクトAを横積みする場合、平滑面の上に置いてください。
- ・ フジエアダクトAを揚重する場合には、ワイヤー等は避け、ナイロンスリング等の幅広のバンドを使用し、表面材を損傷しないようご注意ください。

1-2

付属品及び補修用テープ

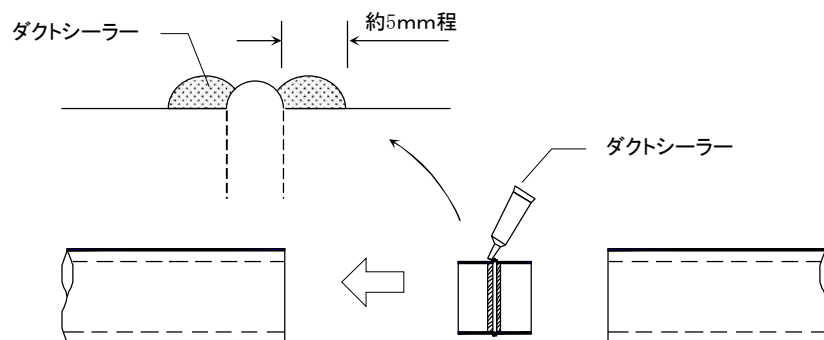
- ・ エルボ、T管、レジューサー、S管、その他の付属品の各々についても、直管の被覆材と同一材料を被覆した部品を用意しています。
- ・ 接続及び、補修用テープには、ALGCを基材とした粘着テープを用意してあります。

2-1

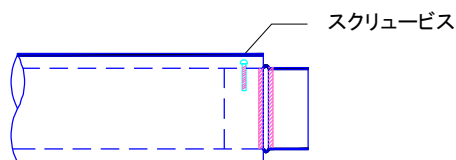
接続方法①

○ フジエアダクト同士の接続

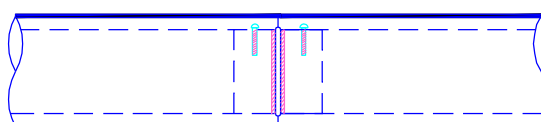
1. 鋼板製ジョイント（ニップル）のヒモ部両側に、約5mm以上切れ目のないようにコーキング材を塗布する。（ダクト工事に使用するダクトシーラー等）



2. 鋼板製ジョイントの片端をフジエアダクトAの内側に差込み、鋼板面までスクリーブスにて固定する（円周上に、3～5箇所ビス止めする）。使用するスクリーブスの長さは25mm以上のものを使用し、電動工具のドライバーは50mm以上の長さがよいです。

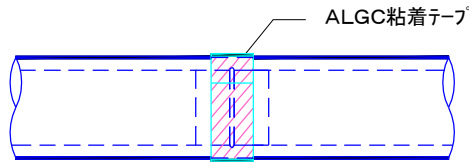


3. 片方のフジエアダクトAを差込み、鋼板面までスクリーブスにて固定する。（円周上に、3～5箇所ビス止めする）



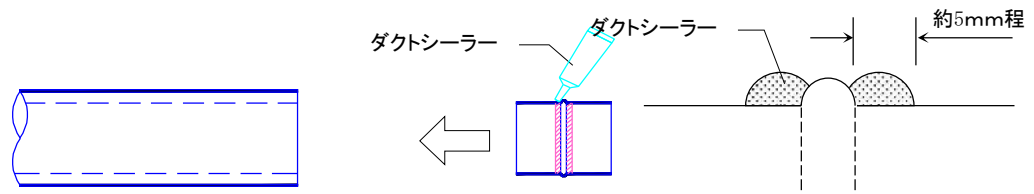
2-2
施工方法②

4. 被覆材の上からALGC粘着テープ等で、接続部を一重に巻き付ける。但し、打込んだスクリーブスの頭が露出、接続隙間のある場合は、無機繊維材（粘着付等）で露出部を隠ぺいしてから、粘着テープを巻き付ける。

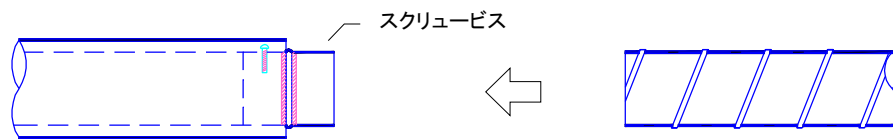


○ スパイラルダクトとの接続

1. 鋼板製ジョイント（ニップル）のヒモ部両側に、約5mm以上切れ目のないようにコーキング材を塗布する。（ダクト工事に使用するダクトシーラー等）



2. フジエアダクトAの内側とスパイラルダクトに、鋼板製ジョイントを差込み、鋼板面までスクリーブスにて固定する。（円周上に、3～5箇所ビス止めする）

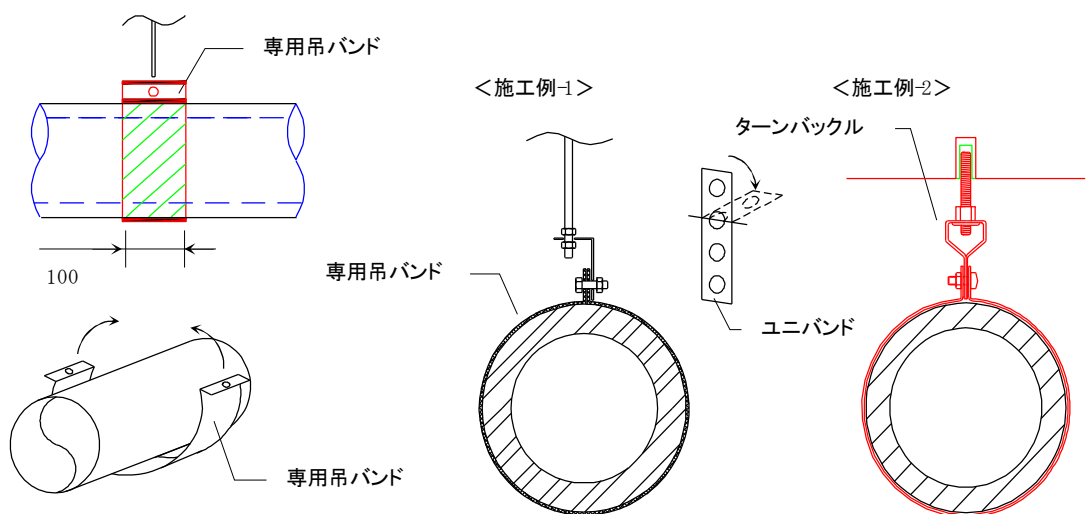


3. 被覆材の上からALGC粘着テープで、接続部を一重に巻き付ける。

3-1
施工方法

1. 吊り込み

吊りバンド（幅広品）をご使用願います。



2. 現場切断加工

現場における切断等の加工は、従来使用されている高速丸鋸カッターが使用できます。但し、カッターの刃の深さは30mm以上が必要です。

3-2
その他

ご希望により、差し込み部に当社の気密性ゴムリングを装着した付属品のニップルもご使用できます。また、ニップルのヒモ部を薄くした特殊ニップルも準備しています。